

「三つの大切」さを育みたい
万羽昭四校長

閉校と統合の二つの顔を
持っている当校です。特に
三つの点に気配りしていま
す。その一つは、友だちを
大切にすること。二つ目に、き
まりを大切にすること。三つ目
に、学校を大切にすること。こ
の三つの大切さを、子供た
ちの生活の中に染み透るよ

うに願っているんです。
閉校の思い出をつくるた
めに、児童会では大郷小ま
つりをやり、幼いエネルギー
を燃やしてくれました。
また、花を育て、床をピカ
ピカにするまでみがくなど、
環境づくりに一生懸命に精
を出してくれています。
特設の大郷アワーでは、
学校の周辺を走り、冬は体
育館でなわとびをさせます。
このため、風邪をひく子供
が減りました。

学校めぐり



ワッツ、うまく入ったみたい(輪投げ)



なかなか顔の真中に当たらないよ。よし今度こそ…(的当て)

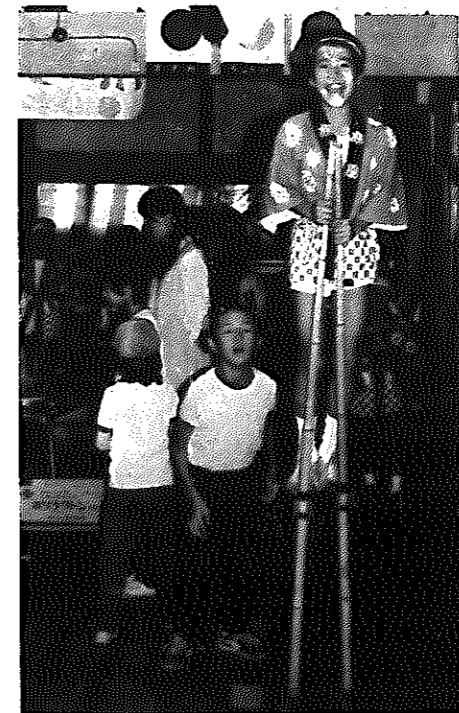


大郷小学校

みんなで燃えた『大郷小まつり』



「ワッショイ、ワッショイ。みこしのお通りだ」みんなとても楽しそう



竹馬って、とてもおもしろいよ



ハッピを新調した部落も…



よくねらって(射的)

大郷小学校(児童数九十人)で
は、十月十六日、「大郷小まつり」
を行いました。これは、閉校を前
に、みんなで大郷小学校での楽し
い思い出をつくらうと、児童会が
企画したものです。
部落単位で、みこしやゲームを
中心とした模擬店を出しました。
みこしは、夏休みにおじいちゃん
やおばあちゃんから手伝ってもら
い、また、他の部落より立派なも
のをと、みんな一生懸命に作りま
した。

祖父母学級の日に合わせて行っ
たことから、おじいちゃん、おば
あちゃんの大声援を受けて、みん
な元気がいっぱいみこしをかつま
ました。とても好評で、地区の年中
行事にしていこうという声も出る
ほどでした。

みこしが終わってから、教室や
廊下を使って模擬店の開催。輪投
げや射的、空き缶とソフトボール
を使ったボーリング。それに竹馬
や竹馬などの昔の遊び道具を作
って貸し出す店など、各部落とも
工夫をこらしたもので、大郷小
まつりが一番おもしろかったよ
と、子供たち……。
同校は来春、鷺巻小学校と統合
し、新しく完成する大郷小学校に
入ることになっています。

部落



渋川弘行くん 6年生

模擬店で、ぼくたちの部落は的
当てと輪投げの店を出しました。
一番人気があったんだよ。みこし
は、かざりつけが面倒でした。
今、工作クラブに入って、船や
飛行機などを作っています。



村木哲也くん 4年生

みこしをかついだのは初めてで
とても感激しました。家に帰って
から、おばあちゃんにがんばった
ねと言われたんだよ。
将棋が大好きで、将棋クラブに
入っているんだ。



野口卓くん 3年生

部落のまつりの時にも、ぼくた
ちが作ったみこしをかついでまわ
ったんだ。祝儀をもらったりして、
とても楽しかったなあ。
模擬店は、ボーリングが一番お
もしろかったよ。



箱岩真くん 1年生

大郷小まつりは、いっぱい模擬
店が出て、おもしろかったよ。
一番おもしろかったのは、割り
ばしで鉄砲を作り、マッチ箱を倒
す射的だ。ぼくたちの部落は、
すごろくを作りました。